

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進		
施策のねらい(めざす姿)	地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	星野 里香

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	待機児童の解消を継続するため、民間保育所等の誘致及び放課後児童クラブ施設の整備改修を行うなど「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、様々な子育て支援策を実施していく。	③改革・改善内容	令和2年度に策定した「第2期鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童のゼロの継続のほか、様々な子育て支援事業を実施していくとともに、(仮称)東部地区児童センターの整備に向け、計画的に取り組んでいく。
②①に基づく取り組み結果	「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童対策の継続、地域の様々な子育て支援を実施した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	18歳までの児童とその家庭	意図(対象をどうするのか)	子どもとその家庭が社会全体で支援されている。
②施策の概要	社会全体で子育てを支えるため、待機児童対策の継続、地域の子育て支援策の実施、子ども医療費の拡大等様々な子育て支援策を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	合計特殊出生率の減少や急速な少子化の進展など子育て家庭を取り巻く環境は、多様化かつ複雑化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	令和元年度:小規模保育事業整備、つどいの広場事業、放課後児童クラブ施設整備など 令和2年度:放課後児童クラブ施設整備、(仮称)東部地区児童センター設置事業など						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	合計特殊出生率	人	1.29	1.22	調査中	1.34
	ii	保育所待機児童数	人	0	0	0	0
	iii	就学前人口に対する保育所入所率	%	29.5	30.8	32.4	18.0
	iv						
③基本事業成果指標	i	家庭児童相談室受付件数	件	14,345	14,319	14,867	8,000
	ii	個別支援会議回数	回	90	107	154	90
	iii	保育所定員数	人	1,526	1,545	1,545	1,545
	iv	放課後児童クラブ(学童クラブ)定員数	人	806	831	885	721
	v	ファミリーサポートセンター利用件数	件	3,476	3,368	2,990	2,300
	vi	児童センター利用者数	人	114,240	99,378	40,930	130,000
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)		令和3年度予算		
事業費(千円)	4,801,599	4,996,964	(単位:円)		45,671	円	5,277,810

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	令和2年7月に策定した「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、利用者のニーズを踏まえ、待機児童ゼロの継続、様々な子育て支援策を実施するなど、きめ細やかな支援を行う必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	児童センター利用人数については、新型コロナウイルス感染症の影響から休館及び利用制限を設けて実施していたことから、大きく減少しているが、保育所の待機児童数は、年度当初には「ゼロ」と達成している。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑拡充
②上記方向性の説明	子育て支援策の拡充は市の重点施策であり、その充実により子育て世代にとって魅力ある街づくりを進めていくことが必要である。
③特に重点化する事務事業	民間保育所等整備助成事業